

2025 年度「学生大使」派遣プログラムにチャレンジしよう (学際) 基盤共通教育科目・前期集中講義【募集要項】

1. 目的

本学の海外拠点校（ベトナム国家農業大学、ガジャマダ大学、新モンゴル学園、ラトビア大学、正義女子高等学校（予定））のいずれか 1 か所に一定期間、「学生大使」として滞在し、現地学生等に日本語・文化と山形大学を紹介しながら外国人と親交を結ぶ。そして、親交を結んだ外国人との対話を滞在期間を通じて深めることによって、異文化適応力を高める。

2. 授業の到達目標

- ①多様な価値観などに直に触れることにより、自らのそれらを対象化できるようになる。
- ②外国人とのコミュニケーション能力を向上させることができる。

3. 開講学年と受講条件

(1) 全学年

※医学部、工学部、農学部 of 2 年次以上の学生は小白川キャンパス開講科目を履修できない可能性があるため、在籍する学部の学生便覧、履修心得等、ガイダンス等をよく確認の上、申請すること。

- (2) 派遣期間中、国内外での移動や健康面を含めた必要な自己管理ができること。（教職員の引率はありません。）
- (3) 派遣先大学において現地学生を相手に日本語教室を実施し、帰国後はアンケート及び実施報告書の提出、並びに報告会を通して成果報告を行うこと。
- (4) 今後、本プログラムの情報発信（説明会での体験談紹介等）に協力できること。
- (5) 海外・異文化体験による意識の変化を測る BEVI テストを受験すること。
- (6) 原則として申請期限（2025 年 6 月 10 日）までにパスポートを取得すること。
（万が一、期限までに取得することが難しい場合でも、取得にかかる手続を進めておくこと。）

※ 既に本科目の単位を修得済みの場合は「自由参加型」に応募すること。

※ 留学生については、母国への派遣は認めない。

4. 派遣先大学と支援内容

渡航補助金として、下記金額を派遣学生（初回派遣のみ）へ帰国後に支給する。

派遣先大学	定員	支援内容
ベトナム国家農業大学（ベトナム）	15 名程度	渡航補助金 学部 1 年生：6 万円 学部 2 年生以上：3 万円
ガジャマダ大学（インドネシア）	15 名程度	
新モンゴル学園（モンゴル）	10 名程度	
ラトビア大学（ラトビア）	10 名程度	
正義女子高等学校（韓国）※予定	女子のみ 2 名	

※₁ 現地との往復航空便を大学が指定します。

※₂ 宿泊先及び現地空港からの送迎は、山形大学において手配し、費用は各自が現地で支払うことになります。

※₃ 過去に本プログラムで渡航補助金の支給を受けたことがある場合、再度の経費支援を受けることはできません。

5. 講義スケジュール

	月日	時間	内容	場所
オリエンテーション	7月2日(水)	16:30～ 18:00	渡航前オリエンテーション	基盤2号館 211教室
第1回	8月18日(月)	9:00～ 10:30	現地事情講義(予定) 危機管理対応等	基盤2号館 211教室
第2回		10:40～ 12:00	グループディスカッション・事務連絡等	基盤2号館 211教室
第3～13回	以下の期間の「現地実習」。日程は受入側の事情により変更される場合があります。 ベトナム: 9月4日(木)～9月18日(木) インドネシア: 8月29日(金)～9月12日(金) モンゴル: 9月4日(木)～9月17日(水) ラトビア: 8月31日(日)～9月13日(土) 韓国: 8月17日(日)～8月31日(日)			
第14回	9月19日(金)	9:00～ 10:30	帰国後の報告会①	基盤1号館 121教室
第15回	※予定	10:40～ 12:00	帰国後の報告会② 事務連絡	基盤1号館 121教室

※オリエンテーションを含め、事前・事後の集中講義にも必ず参加すること。

※韓国への派遣学生は、第1回及び第2回講義を別日程で行います。詳細は、該当者に追ってご連絡します。

6. 申請方法と期限

【申請期限】

2025年6月10日(火) 17:00

※原則として申請期限までにパスポートを取得すること。

【申請方法】

WebClassの「78911「学生大使」派遣プログラムにチャレンジしよう(学際)(2025)」コースに参加し、「申込フォーム(基盤共通教育科目)」から申請してください。

【申請フォーム】



- ※ 応募状況により、申請期限内であっても、募集を打ち切る場合があります。この場合、WebClass 等にて周知するので、随時確認してください。
- ※ 現地の情勢、状況の変化等により、希望した国に派遣できない場合があります。
- ※ 正義女子高等学校（韓国）は、プログラム実施に向けて調整中のため、現時点では予定として募集します。

7. 派遣者の選考について

「申請書」及び「成績確認表」による書類審査を行う。

- (1) グローバル社会をより深く理解する意欲のある者
 - (2) 諸外国の大学生、職員等と積極的に交流を図る意欲のある者
- おって審査後、各自へ結果を通知する。（6月下旬を予定）

8. 成績評価

【基準】

- (1) 「学生大使」としてのフィールドワークをやり遂げることが合格の最低基準。
- (2) その上で、異文化を理解し、外国人と日常的なコミュニケーションを図ることができれば、合格基準をクリアしたと評価する。

【方法】

「学生大使」としての参加態度、帰国後の報告会やディスカッション、レポート等で総合的に評価する。

- (1) 学生大使としての現地実習・・・60点
- (2) レポート（山形大学海外派遣プログラム実施報告書）・・・30点
 - ※このレポートは山形大学ホームページにて掲載し、次年度以降の派遣学生へ紹介する。
 - 「山形大学生海外派遣プログラム実施報告書」記載事項
 - ①氏名・所属・学年
 - ②派遣先大学・派遣期間
 - ③日本語教室での活動内容
 - ④日本語教室以外での交流活動
 - ⑤参加目標への達成度と努力した内容
 - ⑥プログラムに参加した感想
 - ⑦今後の展望
 - ※写真を2枚～4枚添付の上、Word ファイルにて作成し提出すること。
- (3) 報告会におけるプレゼンテーションやディスカッション・・・10点

【単位数】

2単位とする。ただし、本集中講義の履修による取得単位は、2025年度9月期の進級判定及び卒業判定には評価が間に合わないので、自身の単位取得状況等の詳細については、所属する学部の学務担当に必ず確認をすること。

9. 渡航準備について

下記について、各自で準備するものとする。

(1) パスポート

パスポートについては、国ごとに必要有効残存期間が異なるので、自身で必ず事前に確認し、必要な準備をすること。

(2) 航空券

利用便と手配方法については、派遣者決定の通知と併せて指示する。

航空券価格は、派遣先と派遣時期に加えて、購入時期、キャンセル条件などによっても大きく変動することがあります。大学が指定する内容で、可能な限り早期に購入してください。

(3) 海外旅行保険

渡航日（住居から出発）から帰国日（住居に帰着）までの全期間を補償する「学生教育研究災害傷害保険付帯海外留学保険（付帯海外）」及び「危機管理システム J-TAS」への加入を必須とする（参考：2025 年の付帯海外は未定（昨年度は約 6,000 円）、J-TAS は約 1,000 円）。

(4) 予防接種

厚生労働省検疫所ホームページや外務省海外安全ホームページ等を参考に、必要な予防接種を受けること。

(5) 外務省海外旅行登録（たびレジ）への登録

現地での危機管理情報の取得や緊急時の連絡のため、滞在先、滞在期間、渡航スケジュールが決定したら、外務省海外安全ホームページから、「たびレジ」に登録をすること。

(6) 海外渡航・留学届

海外渡航・留学届を所属する学部の学務担当に必ず提出すること。

10. 注意事項

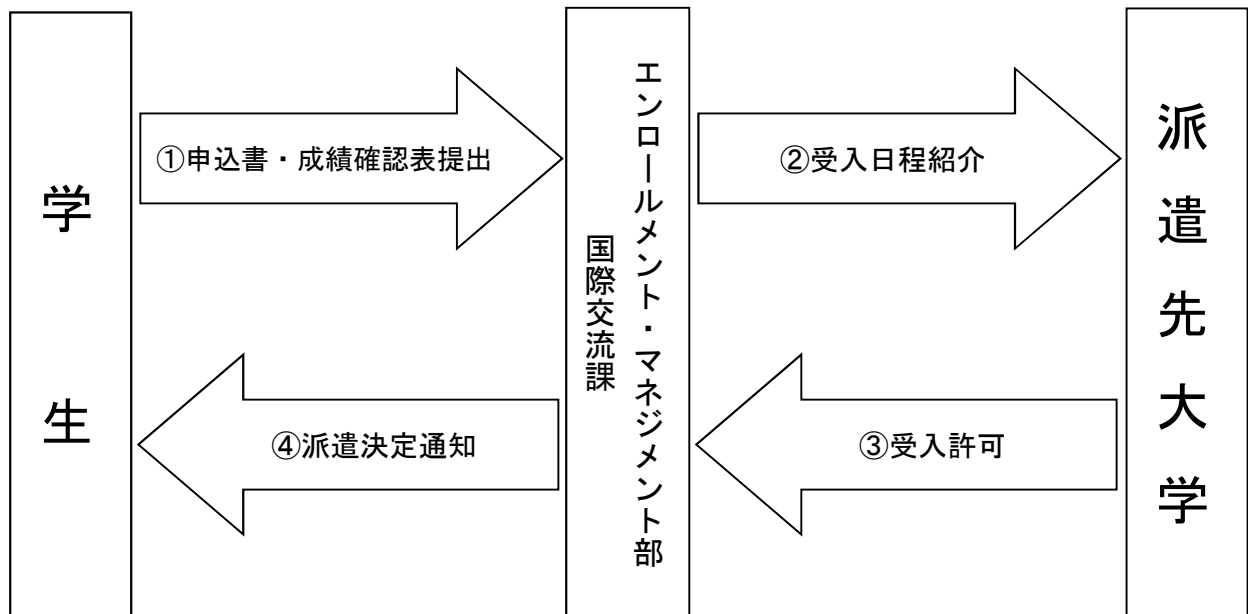
派遣の決定等の際し、エンロールメント・マネジメント部国際交流課からメール又は電話により連絡する場合があるので、連絡を受信できるように設定をしておくこと。

エンロールメント・マネジメント部国際交流課からの連絡に応答のない場合は、危機管理に問題があるため申請を取り消すものとする。

11. その他

渡航先（国）の社会情勢や渡航先大学の事情等により、大学が事業中止の判断をした場合、支払った航空券代の一部または全額が返金されない可能性があります。その場合、領収書等の支払証明書があれば、渡航補助金の額を限度に、大学が損失を補填します。ただし、自己都合により渡航を取りやめた場合は損失補填を行いません。

12. 申請から派遣までの主な流れ



13. 問い合わせ先

エンrollment・マネジメント部国際交流課 (学生センター)

TEL: 023-628-4119

FAX: 023-628-4836

E-mail: yu-int-office@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

派遣先大学紹介

*ここに記載の金額は、2週間滞在した場合の平均であり、為替変動や渡航時期等によっても変化するものである。

*ビザ情報については、変更になる場合があるので、各国大使館HP等で最新の情報を確認すること。

大 学 名	ベトナム国家農業大学 Vietnam National University of Agriculture 通称 VNUA 
国 名	ベトナム社会主義国
都 市	ハノイ
公 用 語	ベトナム語
ビザ情報	45 日以内の滞在であればビザ不要。パスポートの残存有効期間が入国時 6 ヶ月以上。
宿泊施設	大学周辺のホテル
費用の目安	航空券： 約 80,000 円 ～ 送迎費： 5,200 円 ～ 7,800 円 宿泊費： 15,000 円 ～ 30,000 円（部屋のタイプによる） 滞在費： 60,000 円 ～ 80,000 円（上記費用を除く食費・交遊費など）
治安・衛生等の 現 地 状 況	治安状況：人の多い観光地や混雑するバスの車内などでは、ひったくり・スリ・置き引きが頻発している。 シクロやバイクタクシーを利用し運転手から高額請求をされたという例が多く報告されている。 衛生状況：現在、深刻な感染症等の流行は報告されていない。6 月～11 月は雨季となり高温多湿となるため、食品の保存や体調管理（虫刺され対策等）にも注意が必要。 交通事情：自動車やバイクが通行区分や規制を無視して道路に溢れている状況のため、非常に危険。道路を横断する際は、現地の学生と共に行動すること。
特 記 事 項	・平成 24 年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・本部前の池のほとりに、山形大学の記念樹が植えられている。 ・物価が安く、食事代は 1 食 200 円～300 円程度。
先 輩 か ら の メ ッ セ ー ジ	・現地学生が全面的にサポートしてくれるので何も心配はいりません。迷っているのなら参加するのが良いと思います。日本では絶対に経験できない貴重な 2 週間を過ごすことができます。 ・オシャレなカフェもあり、ベトナム人学生の友達とよく行きました。今回で 2 回目となりますが、プライベートでも行きたいと思うくらいとても好きな国となりました。

大 学 名	ガジャマダ大学 Universitas Gadjah Mada 通称 UGM (ウゲム) 
国 名	インドネシア共和国
都 市	ジョグジャカルタ
公 用 語	インドネシア語
ビザ情報	到着ビザ (VoA) の取得が必要。 パスポートの残存有効期間が入国時 6 ヶ月以上, パスポートの未使用査証欄が連続 2 ページ以上必要。
宿泊施設	大学構内ホテル (ツインルーム)
費用の目安	航空券: 約 130,000 円 ~ 送迎費: 800 円 ~ 1,500 円 宿泊費: 31,000 円 ~ 35,000 円 滞在費: 70,000 円 ~ 100,000 円 ビザ取得: 約 5,000 円
治安・衛生等 現地状況	治安状況: 旅行者を狙ったスリやひったくりが増えている。 衛生状況: 通年 27~28 度の高温多湿の熱帯気候であり, 10 月~3 月は雨季となり高温多湿となるため, 食品の保存や体調管理 (虫刺され対策等) にも注意が必要。 交通事情: 道路が未整備な上に通行量が多い。2 人乗りのバイクが多く, マナーや交通規則を無視した運転車も多いため, 外を歩く時には細心の注意を払うこと。
特記事項	・平成 26 年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・インドネシアのトップ大学。日本語力が非常に高い学生が多い。 ・農学部教員の中に, 山形大学出身者もいる。 ・国民の 80%以上がイスラム教徒ということもあり, 大学構内にもモスクが建てられている。 ・キャンパス内では服装について規定あり (襟付きのシャツ, 長ズボン。ショートパンツ, ミニスカートは厳禁)。
先輩からの メッセージ	・毎日が新鮮で楽しいことばかりで、本当に帰りたくありませんでした。お世話してくれる方たちも良い人達ばかりなので、何か困ったことがあってもその人達に相談すれば大丈夫です。このプログラムに参加して、自分の考え方や将来やりたいことが大きく変えられた気がします。初めての海外、インドネシアに行って本当に良かった！ ・インドネシアのトイレは意外と綺麗！トイレトペーパーは無いけど、9割がまともなトイレ。 ・学生達は英語が堪能で、こちらの言いたいことを汲んでくれるので、恐れなくてコミュニケーションを取ることが大切です。 

大 学 名	新モンゴル学園 New Mongol Academy 通称 NMA	
国 名	モンゴル国	
都 市	ウランバートル	
公 用 語	モンゴル語（国家公用語）， カザフ語	
ビザ情報	30 日以内の滞在の場合， 出国する予約済みの航空券を持っていればビザは不要。 パスポートの残存有効期間がモンゴル入国到着 6 ヶ月以上。査証欄の余白が 2 ページ以上必要。	
宿泊施設	ホームステイを原則とする。	
費用の目安	航空券： 約 95,000 円 ～ 送迎費： 約 3,000 円 宿泊費： 21,000 円 ～ 30,000 円（ホームステイ） 滞在費： 30,000 円 ～ 50,000 円	
治安・衛生等 現地状況	治安状況： ひったくりや強盗事件が増えている。ザハ（市場）やバスの中など人が多い場所ではスリの被害も多い。 衛生状況： 冬期の石炭暖房による市街地の大気汚染が課題となっている。飲料水はペットボトルのものを購入。 交通事情： ウランバートルでは自動車の数が一気に増えたのにもとない， 交通事故も増加している。	
特記事項	・平成 29 年度後期から山形大学生及び職員を派遣している。 ・生徒は主に日本語を勉強している中高生（13 歳～18 歳）。 ・一年を通して晴れることが多い。冬は特に晴れるが， 最も寒くなる 12 月～2 月は， 平均最低気温が－25℃程度になる。 ・夏は乾燥した高原の気候で， とても過ごしやすい。 ・内履き持参、教室内ではジーンズ、カジュアル過ぎる服装は控えること。	
先輩からの メッセージ	・他国の近い年代の人と話せる機会は多くないと思います。このプログラムでは現地学生と交流できる時間が長いので同じ目線で海外の様子を知ることができます。コミュニケーションの勉強にもなると思うのでぜひ参加してみてください！ ・初めて授業を経験し、教員を目指す気持ちを新たにしました。 ・ホームステイでは、朝夕手づくりの料理を出してくれた。また、何かあるごとに大丈夫かと聞いてくれて、何の不自由もなく過ごすことができた。モンゴル人の人柄も知れた。 ・広い大地にたくさんの家畜がいて、ゲルがある。教科書で見た光景が広がっていて感動した。	

大 学 名	ラトビア大学 Latvijas Univesitate 通称 LU	
国 名	ラトビア共和国	
都 市	リガ	
公 用 語	ラトビア語	
ビザ情報	シェンゲン協定実施国に入国した日から 90 日以内の滞在の場合は不要	
宿泊施設	リガ市内ホテル（予定）	
費用の目安	航空券： 約 250,000 円 ～ 送迎費： 往復乗合バスで約 600 円 宿泊費： 54,000 円 ～ 80,000 円（借上げアパートを使用予定） 滞在費： 50,000 円 ～ 100,000 円	
治安・衛生等 現地状況	治安状況：混雑した公共交通機関や観光地などの人混みにおけるスリや窃盗事件が多い。夏の観光シーズンは、旧市街地域や中央駅周辺において薬物利用者や酔っ払いの数が増加する傾向にあり、特に夜間の旧市街では酔っ払いによる突発的な傷害事件も報告されている。 衛生状況：リガは真冬には摂氏マイナス 30℃になることもあり湿度も下がるため、風邪などへの注意が必要。草原や森林地帯でダニ刺されることにより感染するダニ脳炎が風土病としてある。 交通事情：冬は雪や凍結により路面が滑りやすくなるため、転倒に注意が必要。また、自動車が道路の凹凸を避けるため予期せぬ動きをとることがあるので、歩道のない道を歩く際は注意が必要。	
特記事項	・国境はロシア、ベラルーシに接している。 ・リガの旧市街は街全体が UNESCO の世界文化遺産に登録されている。 ・平成 26 年度から山形大学生及び職員を派遣している。 ・日本語教室には、現地大学生のほか近隣の中学・高校に通う学生や社会人、主婦など幅広い年齢層の受講生がいる。	
先輩からの メッセージ	・初めての海外で非常に緊張していたが、現地の学生と仲良くなり、リガの綺麗な町を散策しているとずっとここにいたいと思うようになった。	 ・ラトビアの学生さんは学習意欲が高く、純粋に「日本語」を学びたいという人が多いです。授業に来る学生さんの学習状況やニーズをふまえて、授業プランを考えることが大切だと感じました。 

大 学 名	正義女子高等学校 Jeongeui Girls' High School 
国 名	大韓民国
都 市	ソウル特別市
公 用 語	韓国語
ビザ情報	本プログラムでは不要
宿泊施設	調整中（現地アパートの借上げを予定）
費用の目安	航空券： 約 70,000 円～ 送迎費： 学生だけで空港鉄道と地下鉄を利用（往復約 2,000 円） 宿泊費： 数万円から 10 万円前後で調整中 滞在費： 50,000 円～100,000 円
治安・衛生等 現地状況	治安状況：日本の大都市圏並み。 衛生状況：日本と同様。ただし、場所により飲食店の衛生状況がよくないことがある。 交通事情：公共交通網が東京並みに整備されている。乗合バスとタクシーの運転は、日本と比較にならないほど荒い。特に乗合バスの急発進、急停車に備え、自分の身体を守る意識が大切となる。
特記事項	・正義女子高校は、山形市の城北高校と交流関係があり、両校の間で高校生の相互訪問などが実施されてきた。 ・同高校を卒業した学生が山形大学に留学し、在韩国日本大使館や山形県ソウル事務所で活躍した先輩もいる。 ・初回の派遣となるので、文字どおり山形大学の「大使」として現地高校生等との絆を一から築くことが期待される。 ・現地高校の日本語授業の指導助手を務める。 ・高校の授業時間以外は、韓国企業等を訪問し、韓国における仕事や社会人生活の実情を学ぶことになる。 ・ソウル在住の山形県関係者の親睦組織「山形べにばな会」の会員から滞在サポートを受けると共に、同会による学生大使歓迎行事に参加する。